

あおがれびょう 青枯病

病原菌名 *Ralstonia solanacearum*

発生条件

高温期に発病が多い。病原菌は過湿なほ場状態を好み、排水不良、過灌水や冠水によって爆発的に発生する。土壌伝染し、病原菌は土壌深層部にも分布している。発病株からの芽かき、誘引、適葉、摘果などの作業により傷口から病原菌が感染する。



発病株

成長点が萎れ、その後急激に全身が萎凋する。地際部の茎を水中に入れると乳白色の菌泥が流出する。